

岩手県雫石町のトンボ相 (2)

—ウチワヤンマなどの追加記録を含めて—

佐々木全¹・佐々木悠太¹・渡辺修二²

Dragonfly Fauna in Shizukuishi Town, Iwate Prefecture—Part II: Including Additional Records of Species such as *Sinictinogomphus clavatus* (Fabricius, 1775)

SASAKI Zen, SASAKI Yuta, WATANABE Shuji

¹ 滝沢市 Takizawa City, Japan

² 岩手県立博物館 020-0102 盛岡市上田字松屋敷 34 Iwate Prefectural Museum, Ueda Matsuyashiki 34, Morioka City, 020-0102, Japan.

Abstract

To elucidate the dragonfly fauna of Shizukuishi Town, Iwate Prefecture, comprehensive surveys were conducted at two sites around Lake Gosho. These surveys resulted in the identification of 48 species, spanning 10 families, with 4 species from 3 families being newly recorded. As a result, the total documented species of dragonfly fauna in Shizukuishi Town now comprises 50 species across 10 families.

はじめに

筆者らは、岩手県雫石町におけるトンボ相を明らかにすることを目的に、2022 年に御所湖周辺の町内 2 地区（雫石地区と御所地区）で調査を実施し、準絶滅危惧種マダラヤンマ *Aeshna mixta* Latreille, 1805 を含む 10 科 46 種を報告した (佐々木ほか 2023)。

今回は、2023 年に実施した継続調査で新たに確認された種を追加して報告する。

方法

調査地は、御所湖周辺の町内 2 地区における次の 2 か所である①雫石地区の七ツ森森林公園：御所湖の北側から 1 キロほど離れた山林地帯であり、その一角にある池周辺（以下では森林公園と記す）、②御所地区の御所湖乗り物広場：御所湖の西側のほとりに整備された岩手県立御所湖広域公園の施設の 1 つであり、その一角にある池周辺（以下では乗り物広場と記す）。なお、各調査地の環境は、前回調査時に比べ特筆すべき変化があった。具体的には、森林公園では池周辺の林の一部が伐採され、平地が開け、池の日当たりが増した。乗り物広場では、池に観賞用のフナ 6 尾が放流され、

観賞用に簡易のポンプによる噴水が設置された。

調査の時期は、2023 年 5 月～10 月までとし、1 回 2 時間程度、月 2 回程度を原則としつつ、必要に応じて回数を増やして訪問した。最終的に調査回数は、森林公園で 38 回、乗り物広場で 14 回だった。

確認した個体は目視または捕獲し、図鑑「ネイチャーズガイド 日本のトンボ」(尾園ほか 2012) に基づき種と雌雄の別を同定した。捕獲した個体は、写真撮影をした後リリースした。写真撮影は、自動で撮影日および位置情報が記録されるよう設定されたカメラを用いた。個体数については、「1 頭 (単独)」「2~3 頭 (少数)」「4~9 頭 (普通)」「10 頭以上 (多数)」として概算にて記録した。

結果

本調査では、雫石町で新たに記録された 3 科 4 種を含む 10 科 48 種が確認された。確認種の一覧を以下に示した。種の掲載順及び学名は「ネイチャーズガイド 日本のトンボ」(尾園ほか 2012) に従った。また、前回調査と本調査における確認の回数を比較するために、確認種ごとの確認回数と確認率 (確認率 = 確認回数 ÷

調査回数×100) を算出し、表 1 に示した。合わせて、御所湖周辺での採集記録として「ごしょこものしり館」所蔵標本及び尾入野湿性植物園における調査 (佐々木・渡辺 2022) での記録の有無を示した。

アオイトトンボ科 Lestidae

オツネイトンボ *Sympecma paedisca* (Brauer, 1877)
ホソミオツネイトンボ *Indolestes peregrinus* (Ris, 1916)

アオイトトンボ *Lestes sponsa* (Hansemann, 1823)
オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys, 1883

既知種のオツネイトンボは、乗り物広場において確認されなかった。アオイトトンボは、乗り物広場に限られたが、確認の頻度は前回調査で 61.1% だったのに対して、本調査で 14.3% であった。

カワトンボ科 Calopterygidae

ニホンカワトンボ *Mnais costalis* Selys, 1869
ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* Selys, 1853
ハグロトンボ *Atrocalopteryx atrata* (Selys, 1853)

ニホンカワトンボは、乗り物広場において新たに確認された。既知種のミヤマカワトンボは、乗り物広場において確認されなかった。ハグロトンボは、森林公園において新たに確認された。

モノサシトンボ科 Platynemididae

モノサシトンボ *Pseudocopera annulata* (Selys, 1863)

イトトンボ科 Coenagrionidae

キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys, 1876
エゾイトトンボ *Coenagrion lanceolatum* (Selys, 1872)
オゼイトトンボ *Coenagrion terue* (Asahina, 1949)
クロイトトンボ *Paracercion calamorum* (Ris, 1916)
オオイトトンボ *Paracercion sieboldii* (Selys, 1876)
モートンイトトンボ *Mortonagrion selenion* (Ris, 1916)

アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer, 1865
既知種のキイトトンボは、森林公園において確認されなかった。オゼイトトンボは、乗り物広場において新たに確認された。オオイトトンボとアジアイトトンボは、森林公園において新たに確認された。

ヤンマ科 Aeshnidae

サラサヤンマ *Sarasaeschna pryeri* (Martin, 1909)
ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* (Selys, 1883)
ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera* (Selys, 1883)

マダラヤンマ *Aeshna mixta* Latreille, 1805
オオルリボシヤンマ *Aeshna crenata* Hagen, 1856
ルリボシヤンマ *Aeshna juncea* (Linnaeus, 1758)

ギンヤンマ *Anax parthenope* (Selys, 1839)
クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus* Oguma, 1915

ミルンヤンマは、森林公園において新たに確認された (写真 1, 採集: 第二著者, 岩手県立博物館所資料登録番号 316441)。ヤブヤンマは、森林公園において 1♂ の死骸が確認された (採集: 第二著者, 岩手県立博物館所資料登録番号 316442)。また、同種は乗り物広場付近の御所地区内において 1♀ の死骸が確認された。これについては、便宜上、乗り物広場の記録とした。(写真 2, 採集: 第一著者, 岩手県立博物館所資料登録番号 316443)。マダラヤンマは、乗り物広場に限られた。その詳細は別報 (佐々木ほか 2024) で述べた (写真 3, ♂型の♀, 採集: 第二著者, 岩手県立博物館所蔵標本番号 295622)。ルリボシヤンマは、森林公園に限られた。

なお、クロスジギンヤンマ 1♂ が 9 月 15 日に森林公園にて確認されたが、これは同種にしては遅い時期の記録であった (採集: 第二著者, 岩手県立博物館所資料登録番号 316444)

サナエトンボ科 Gomphidae

ウチワヤンマ *Sinictinogomphus clavatus* (Fabricius, 1775)

コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys, 1886
オナガサナエ *Melligomphus viridicostus* (Oguma, 1926)

ダビドサナエ *Davidius nanus* (Selys, 1869)
コサナエ *Trigomphus melampus* (Selys, 1869)
ミヤマサナエ *Anisogomphus maacki* (Selys, 1872)

ウチワヤンマは、森林公園で初めて確認された (写真 4, 採集: 第二著者, 岩手県立博物館所資料登録番号 316445)。オナガサナエは森林公園に限られた。既知種のダビドサナエは、森林公園において確認されなかった。ミヤマサナエは、乗り物広場に限られたが、確認の頻度は前回調査で 22.2% だったのに対して、本

調査で7.1%であった。

オニヤンマ科 Cordulegastridae

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys, 1854)

エゾトンボ科 Corduliidae

タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Förster, 1909

なお、既知種のエゾトンボは、森林公園において確認されなかった。既知種のタカネトンボは、乗り物広場において確認されなかった。

ヤマトンボ科 Macromiidae

オオヤマトンボ *Epophthalmia elegans* (Brauer, 1865)

なお、オオヤマトンボは、森林公園に限られた。

トンボ科 Libellulidae

チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa* Selys, 1883

ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* (Selys, 1883)

ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (Selys, 1883)

アキアカネ *Sympetrum frequens* (Selys, 1883)

マユタテアカネ *Sympetrum eroticum* (Selys, 1883)

マイコアカネ *Sympetrum kunckeli* (Selys, 1884)

ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum* (Müller in Allioni, 1766)

ネキトンボ *Sympetrum speciosum* Oguma, 1915

コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* (Burmeister, 1839)

コフキトンボ *Deielia phaon* (Selys, 1883)

ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia* (Drury, 1773)

ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius, 1798)

ハラビロトンボ *Lyrithemis pachygastra* (Selys, 1878)

シオカラトンボ *Orthetrum albistylum* (Selys, 1848)

シオヤトンボ *Orthetrum japonicum* (Uhler, 1858)

オオシオカラトンボ *Orthetrum melania* (Selys, 1883)

ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata* Linnaeus, 1758

チョウトンボ、コフキトンボ、ヨツボシトンボは乗り物広場に限られた。このうち、チョウトンボの確認の頻度は前回調査で22.2%だったのに対して、本調査で7.1%であった。マイコアカネとネキトンボは、森林公園において初めて確認された。ネキトンボ

の確認は、内陸部では珍しく、その詳細は別報(佐々木ほか2024)で述べた(写真5,採集:第二著者,岩手県立博物館所資料登録番号295618)。

コシアキトンボは、乗り物広場において初めて確認された。既知種のミヤマアカネとオオシオカラトンボは、乗り物広場において確認されなかった。

考察

本調査で確認された10科48種と前回調査による既知種(佐々木ほか2023)を併せると、雫石町の既知種は10科50種となった。各調査地で確認できなかった既知種は、森林公園では、キイトトンボ、ダビドサナエ、エゾトンボであった。乗り物広場では、オツネトンボ、ミヤマカワトンボ、ミヤマアカネ、オオシオカラトンボであり、このほか、確認の頻度の減少が顕著だった種は、アオイトトンボ、エゾイトトンボ、ミヤマサナエ、チョウトンボであった。また、環境省レッドリスト(2020)で準絶滅危惧種、いわてレッドリスト(2024)で絶滅危惧II類とされているマダラヤンマは、2022年調査において、2♂が確認されたが、本調査では♂型の♀が確認されており、内陸部での産地拡大の可能性がより高まったといえる。

本調査で新たに追加されたミルンヤンマ、ヤブヤンマ、ウチワヤンマ、ネキトンボの3科4種には、環境省レッドリスト(環境省2020)及びいわてレッドリスト(岩手県環境生活部自然保護課2024)に該当するものはなかった。

本調査で確認された10科48種について、過去の御所湖周辺の盛岡市側での調査である尾入野湿性植物園における調査(佐々木・渡辺2022)及び北上川ダム統合管理事務所御所ダムが開設している資料館「ごしょこものしり館」に所蔵されている御所湖で採集されたトンボの標本と対照させたところ、本調査では、アオハダトンボ、コヤマトンボが確認されなかった。

今後の調査によって、雫石町のトンボ相の全容並びに、個体数の増減や季節消長の把握をめざしたい。

謝辞

本調査に際しては、各調査地の管理者によるご了解をいただきました。特にも、御所湖広域公園指定管理者 KOIWAI・F 御所湖広域公園管理事務所 所長 及川 東一郎様、副所長 澤田一憲様にはご厚情を賜りました。記して感謝申し上げます。

引用文献

岩手県環境生活部自然保護課 (2024) いわてレッドリスト. <https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/shizen/yasei/rdb/1074862/index.html> (参照 2025/1/21).

環境省 (2020) 環境省レッドリスト. <https://www.env.go.jp/press/107905.html> (参照 2025/1/21).

尾園暁・川島逸郎・二橋亮 (2012) ネイチャーガイド トンボ図鑑. 文一総合出版, 東京.

佐々木全・渡辺修二 (2022) 岩手県盛岡市「尾入野野生植物園」のトンボ相. 岩手大学教育学部研究年報 81: 83-95.

佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二 (2023) 岩手県雫石町のトンボ相 ―準絶滅危惧種マダラヤンマの新たな採集記録を含めて―. 岩手県立博物館研究報告 40: 7-11.

佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二 (2024) 岩手県内陸部におけるネキトンボの記録. 月刊むし 636: 49-50.

佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二 (2024) 岩手県内陸部におけるマダラヤンマの記録―岩手郡雫石町での採集―. 月刊むし 641: 47-48.

要 旨

岩手県雫石町におけるトンボ相を明らかにすることを目的とし, 御所湖周辺の2地区における調査を継続的に実施した. 本調査では, 10科48種が確認された. このうち, 3科4種が新たな記録であり, 雫石町における既知種は10科50種となった.

キーワード: 雫石町のトンボ相, ミルンヤンマ, ヤブヤンマ, ウチワヤンマ, ネキトンボ



写真 1 ミルンヤンマ



写真 2 ヤブヤンマ



写真 3 マダラヤンマ



写真 4 ウチワヤンマ



写真 5 ネキトンボ

表 1 各調査地における確認種

科	種 (和名)	森林公園			乗り物広場			過去の調査			備考	
		2022 年 個体数	2022 年 確認回数 (%)	2023 年 個体数	2023 年 確認回数 (%)	2022 年 個体数	2022 年 確認回数 (%)	2023 年 個体数	2023 年 確認回数 (%)	御所湖*1		尾入野*2
アオイトトンボ科	オツネトンボ	**♂♀	6 14.6	**♂♀	6 15.4	***♂♀	3 16.7	0	0.0			
	ホソミオツネトンボ	****♂♀	9 22.0	****♂♀	13 33.3	****♂♀	7 38.9	****♂♀	5 35.7			
	アオイトトンボ		0 0.0		0 0.0	****♂♀	11 61.1	**♂	2 14.3			
	オオアオイトトンボ	***♂♀	11 26.8		8 20.5	****♂♀	3 16.7	**♂♀	1 7.1	○(2010.8.9)	○	
カワトンボ科	ニホンカワトンボ	*♂	1 2.4	**♂♀	3 7.7		0 0.0	*♂	1 7.1	○(2020.6.1)	○	当地初記録 (乗り物広場 2023.5.27)
	アオハダトンボ		0 0.0		0 0.0		0 0.0		0 0.0		○	
	ミヤマカワトンボ	**♂♀	1 2.4	**♂♀	2 5.1	**♂♀	2 11.1		0 0.0	○(2020.6.2)	○	
	ハグロトンボ		0 0.0		2 5.1	****♂♀	5 27.8	***♂♀	5 35.7	○(2010.8.5, 2020.7.22)	○	
モノサシトンボ科	モノサシトンボ	****♂♀	14 34.1	***♂♀	18 46.2	**♂♀	3 16.7	**♂♀	4 28.6	○(2010.8.9)	○	
イトトンボ科	キイトトンボ	***♂♀	5 12.2		0 0.0	****♂♀	7 38.9	****♂♀	5 35.7	○(2010.8.5)	○	
	エゾイトトンボ	****♂♀	10 24.4	**♂♀	12 30.8	****♂♀	6 33.3	**♂♀	1 7.1	○(2010.5.23)	○	
	オゼイトトンボ	**♂	1 2.4	**♂♀	9 23.1		0 0.0	**♂♀	2 14.3	○(2010.8.6)	○	当地初記録 (乗り物広場 2023.5.21)
	クロイトトンボ	****♂♀	17 41.5	****♂♀	18 46.2	****♂♀	5 27.8	***♂♀	5 35.7			
	オオイトトンボ		0 0.0	*♂	3 7.7	****♂♀	8 44.4	**♂♀	4 28.6			当地初記録 (森林公園 2023.8.3)
	モートンイトトンボ		0 0.0		0 0.0	****♂♀	7 38.9	****♂♀	4 28.6		○	環境省 RL, 岩手 RL 準絶滅危惧種
	アジアイトトンボ		0 0.0	**♂♀	5 12.8	****♂♀	10 55.6	****♂♀	3 21.4	○(2010.8.6)		当地初記録 (森林公園 2023.8.19)
ヤンマ科	サラサヤンマ	*♂	1 2.4	**♂	2 5.1	*♂	1 5.6	*♂	1 7.1			岩手 RL 留意
	ミルンヤンマ		0 0.0	*♀	2 5.1		0 0.0		0 0.0	○(2022.9.14)	○	雫石町初記録 (森林公園 2023.9.2)
	ヤブヤンマ		0 0.0	*♂	1 2.6		0		*♀	1 7.1		雫石町初記録 (森林公園 2023.7.29, 乗り物広場付近 2023.8.5)
	マダラヤンマ		0 0.0		0 0.0	**♂	2 11.1		*♀	1 7.1		環境省 RL 準絶滅危惧種, 岩手 RL 絶滅危惧 II 類 1♀ (乗り物広場 2023.9.23: ♂型)
	オオルリボシヤンマ	****♂♀	16 39.0	****♂♀	20 51.3	****♂♀	9 50.0	***♂♀	3 21.4	○(2010.9.30)	○	
	ルリボシヤンマ	***♂♀	6 14.6	**♂♀	7 17.9		0 0.0		0 0.0	○(2010.9.30)	○	
	ギンヤンマ	**♂	4 9.8	**♂♀	5 12.8	****♂♀	9 50.0	***♂♀	5 35.7			
	クロスジギンヤンマ	****♂♀	16 39.0	****♂♀	13 33.3	**♂♀	6 33.3	*♂	4 28.6	○(2022.6.1)	○	1♂ (森林公園 2023.9.1: 同種にしては遅い時期の記録)

科	種 (和名)	森林公園					乗り物広場					過去の調査		備考	
		2022年		2023年			2022年			2023年		御所湖*1	尾入野*2		
		個体数	確認回数 (%)	個体数	確認回数 (%)	個体数	確認回数 (%)	個体数	確認回数 (%)						
サナエトンボ科	ウチワヤンマ	0	0.0	**♀	1	2.6	0	0.0	0	0.0	○(2022.7.22)		雫石町初記録(森林公園 2023.7.22)		
	コオニヤンマ	***♂♀	13	31.7	***♂	4	10.3	**♂♀	2	11.1	*♂	1	7.1	○(2010.8.5)	○
	オナガサナエ	*♂	1	2.4	**♂♀	2	5.1		0	0.0		0	0.0		○
	ダビドサナエ	*♂	2	4.9		0	0.0		0	0.0		0	0.0		○
	ミヤマサナエ		0	0.0		0	0.0	****♂	4	22.2	*♂	1	7.1		
	コサナエ	***♂♀	13	31.7	***♂♀	13	33.3	**♂♀	1	5.6	**♂♀	2	14.3	○(2022.6.1)	○
オニヤンマ科	オニヤンマ	****♂♀	26	63.4	****♂♀	25	64.1	***♂♀	8	44.4	**♂不	6	42.9	○(2010.8.9, 2022.7.22)	○
エゾトンボ科	タカネトンボ	**♂♀	11	26.8	***♂♀	20	51.3	*♂	1	5.6		0	0.0		○
	エゾトンボ	*♀	1	2.4		0	0.0		0	0.0		0	0.0		岩手 RL 留意
ヤマトンボ科	オオヤマトンボ	*♀	3	7.3	*不	2	5.1		0	0.0		0	0.0	○(2022.7.22)	
	コヤマトンボ		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	○(2022.7.21)	
トンボ科	チョウトンボ		0	0.0		0	0.0	***♂♀	4	22.2	*♂	1	7.1		
	ナツアカネ	*♀	1	2.4	*♂	1	2.6	*♂	1	5.6	*♂	1	7.1	○(2020.9.16.)	○
	ノシメトンボ	****♂♀	31	75.6	****♂♀	26	66.7	****♂♀	12	66.7	****♂♀	11	78.6		○
	アキアカネ	****♂♀	28	68.3	****♂♀	25	64.1	****♂♀	12	66.7	****♂♀	10	71.4	○(2010.8.5)	○
	マユタテアカネ	**♂♀	16	39.0	**♂♀	13	33.3	*♂	1	5.6	*♂	1	7.1		○
	マイコアカネ		0	0.0	**♂♀	2	5.1	****♂♀	10	55.6	****♂♀	10	71.4		当地初記録(森林公園 2023.8.6)
	ミヤマアカネ	***♀不	0	0.0	**♂	2	5.1	**♂♀	2	11.1		0	0.0	○(2010.8.9, 2020.9.16)	○
	ネキトンボ		0	0.0	**♂	2	5.1		0	0.0		0	0.0		雫石町初記録(森林公園 2023.9.16)
	コシアキトンボ	**不	4	9.8	**♂♀	4	10.3		0	0.0	**♂不	2	14.3		当地初記録(乗り物広場 2023.7.23)
	コフキトンボ		0	0.0		0	0.0	**♂♀	2	11.1	*♀	2	14.3		
	ショウジョウトンボ	***♂♀	7	17.1	***♂♀	13	33.3	****♂♀	11	61.1	****♂♀	6	42.9	○(2010.8.6)	
	ウスバキトンボ	*♂	1	2.4	*♀	1	2.6	**♂♀	7	38.9	****♂♀	6	42.9		○
	ハラビロトンボ	**♂♀	3	7.3	**♂♀	8	20.5	****♂♀	7	38.9	**♂♀	4	28.6	○(2010.8.5, 2020.6.1)	○
	シオカラトンボ	*♂	1	2.4	**♂♀	9	23.1	****♂♀	11	61.1	****♂♀	9	64.3	○(2010.8.5, 2020.7.22)	○
	シオヤトンボ	***♂♀	9	22.0	**♂♀	12	30.8	***♂♀	3	16.7	***♂♀	3	21.4	○(2020.6.1)	○
	オオシオカラトンボ	**♂♀	11	26.8	**♂♀	13	33.3	**♂♀	2	11.1		0	0.0	○(2010.8.9)	○
ヨツボシトンボ		0	0.0		0	0.0	****♂♀	9	50.0	****♂♀	5	35.7			

調査期間を通しての個体数の概算を*:1頭(単独), **:2~3頭(少数), ***:4~9頭(普通), ****:10頭以上(多数)で示した. 不:性別不明.

確認回数は, 調査回(森林公園:38回, 乗り物広場:14回)のうち, その種を確認できた回数を示す. 確認率(%)=確認回数÷調査回数×100

*1 御所湖付近で採集された標本(ごしょものしり館所蔵) *2 御所湖の北側にある尾入野湿生植物園(盛岡市)で記録された種(佐々木・渡辺 2022)

環境省 RL: 環境省レッドリスト(環境省 2020) 岩手 RL: いわてレッドリスト(岩手県環境生活部自然保護課 2024)